

7 区 共 通 予 算

区政総務費・戸籍住民基本台帳費では、区役所等庁舎・設備の整備、道路施設等の大規模補修、区役所の各区域にまたがる事業に関する予算を計上しています。

ここでは、それらの主な内容について御紹介します。

<予 算 額>

6,739,736千円 (対前年度比：△4.5%)

<主な事業>

問合せ先:市民文化局庶務課 200-2255 内) 26101

共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化

区役所等庁舎整備の推進 240,289千円

○老朽化が著しい多摩区役所生田出張所の建替整備を進めます。

区役所改革の推進 42,303千円

○市民同士のつながりやコミュニティづくりを進めるとともに、市民の主体的な活動を促進する取組を進めます。

○参加と協働による地域課題解決の新たなしくみの区域レベルの機能として、区における中間支援のあり方などの検討を進めます。(新規)

○川崎の魅力伝える観光案内・魅力発信拠点と、証明発行等の身近な行政サービスを提供する川崎駅北口行政サービス施設(かわさききたテラス)の管理・運営を行います。



かわさき きたテラス (イメージ)

戸籍・住民票等の証明書交付事務の利便性向上 1,181,486千円

○マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストアにおける戸籍・住民票等の証明書の交付(コンビニ交付)の普及促進を図るとともに、コンビニ交付に必要なマイナンバーカードのさらなる普及促進を図ります。

問合せ先:建設緑政局庶務課 200-2785 内) 38201

市内道路施設の維持管理・大規模補修 968,886千円

○市内7区の道路等について、適切な維持管理を計画的に実施することにより、道路交通の安全を確保し、市民の快適な生活環境を維持します。

・市道子母口宿河原線擁壁補修工事等

公園緑地・街路樹の維持管理 1,575,972千円

○公園や街路樹を適切に維持管理することにより、安全・安心な施設等の利用環境の維持・向上を推進します。

・公園内施設清掃の充実や公園の樹木剪定等
・大きく育った街路樹の健全度調査や剪定の実施等

<予算額>

問合せ先:総務課 201-3121 内) 61110

1,454,700千円 (対前年度比:△4.4%)

<主な事業>

地域資源を活かしたまちづくりの推進

22,016千円

○地域団体等との協働により、東海道川崎宿の歴史・文化資源を活かしたスタンプラリーや東海道川崎宿2023まつりなどのイベントにより賑わいを創出するとともに、東海道川崎宿フラッグの設置や電柱巻型案内標識の更新などにより江戸風意匠の街並みを推進します。また、川崎宿起立400年を迎える平成35(2023)年を目指した事業推進のロードマップを区民参加で策定します。(拡充)



東海道周辺をめぐる
スタンプラリー

○「富士通スタジアム川崎」でのアメリカンフットボール体験イベントの開催等により、地域のスポーツ資源の魅力を発信するとともに、「ふるさとかわさき」作りのシンボルとして、地域の多様な主体が参加する綱引き大会を開催し、区民にスポーツと触れ合う機会や地域交流の場を提供します。

区のイメージアップに向けた環境まちづくりの推進

4,661千円

○区の花「ビオラ」「ひまわり」、区の木「銀杏」「長十郎梨」について、植栽キャンペーンや銀杏に関するイベントを行うなど、区民への周知・浸透を図り、区のイメージアップや地域緑化の推進、環境意識の向上に取り組みます。

○県立川崎高等学校養蜂部の活動を地域緑化の観点から支援し、養蜂活動を地域住民等に周知するために学校等と連携したイベントを行うことにより、区内における地域緑化の一層の推進と区のイメージアップや魅力の向上を図ります。

誰もが安心して、生き生きと暮らせるまちづくりの推進

5,034千円

○地域包括ケアシステムに関する実践的な講演会の開催をはじめとして、さまざまな機会を捉えた普及啓発に引き続き取り組みます。さらに地区カルテ等を活用したワークショップの開催等により、課題や地域情報を区民と共有し、地域における多様な主体と顔の見える関係を築きながら、支え合いの地域づくりを進めます。(拡充)



地域包括ケアシステム講演会
福祉レクリエーション講座

○生活状況の振り返りや介護予防、最期の過ごし方について考えるきっかけとして、「シニアライフノート」を新たに作成します。また「ウォーキングガイドブック」や「シニアのためのお出かけ情報」を活用し、区民と協働した健康づくりや介護予防の取組を推進します。

○多様な地域人材を講師とし、学生ボランティアをサポーターとして活用した小学生向けの講座を夏休み等の長期休業中に実施することにより、学区を越えた仲間づくり・居場所づくり、世代間交流を図るとともに、地域活動に関心を持つ子どもたちの育成を促進します。(新規)

地域における子ども・子育て支援の推進

10,691千円

- 不登校やひきこもりなどの問題を抱える子どもの居場所「こどもサポート旭町」を週4日開所し、学習支援、スポーツ活動、料理や読み聞かせ等のふれあい体験活動を通じて、子どもの状況に応じた社会参加を促します。また、新たに保護者相談のための専任の相談員を配置するとともに、子どもの心理的ケアのためのメンタルボランティアを増員し、子どもと保護者に寄り添った支援の充実を図ります。(拡充)
- 日本語に不慣れな子どもや保護者が孤立することを防ぐため、学校や保育園等からの申請に基づいて通訳・翻訳の支援を行います。



こどもサポート旭町

安全・安心なまちづくりに向けた地域防災力の向上

5,240千円

- 地域防災力の向上を目指し、より実効性の高い避難所開設・運営訓練、津波避難訓練、外国人市民を対象にした防災訓練、隣接する幸区、横浜市鶴見区と締結した包括協定に基づく連携訓練等を実施するとともに、区民や関係機関等との連携による地域特性に応じた実践的な区総合防災訓練を実施します。
- 区民・事業者・行政で構成する区危機管理地域協議会において、地域防災の課題等を検討するとともに、区災害対策本部の強化に向けて、実践的な職員向け訓練・研修を実施します。(拡充)



川崎区総合防災訓練
(救出・救助訓練)

交通安全と自転車対策の推進

4,255千円

- 交通事故の防止に向けて、警察、各種交通安全団体などと連携し交通安全キャンペーン活動を行うとともに、幅広い世代を対象に自転車大会や交通安全教室等を開催し、交通ルールの遵守及びマナーの実践について広く啓発活動に取り組みます。
- 川崎区は自転車利用者が多く、駅周辺における放置自転車が歩行者の通行の妨げになっているため、小学生の絵画を使用した路面啓発シートを設置し、放置自転車の減少に向けた環境整備に取り組みます。



路面啓発シートの設置

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

731,556千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

199,220千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予 算 額>

問合せ先:総務課 556-6602 内) 62110

925,185千円 (対前年度比: +0.9%)

<主な事業>

地域資源を活かしたまちづくりの推進

24,643千円

- 市制100周年に向けて、寄附・募金等を活用した梅の植樹を進めるとともに、地域の歴史を学ぶ講演会や写真展の開催、散策路の整備など、郷土の歴史の継承と地域資源を活かした取組を区民と協働で実施する「御幸公園梅香(うめかおる)事業」の充実を図ります。
- 「新川崎・創造のもり」など、研究開発施設が集積した幸区の特徴を活かした科学技術イベントの開催や「ミュージア川崎シンフォニーホール」でのコンサートの開催など地域特性を活かした魅力あるまちづくりを推進します。



御幸公園

健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進

7,961千円

- 「幸区ご近所支え愛事業」の実施地区を拡大し充実を図ることにより、地域包括ケアシステムの「自助」「互助」の取組を進め、地域による自主的な助け合いを活発化させていくことで、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる地域づくりを目指します。(拡充)
 - ・推進会議の開催による関係機関との連携強化
 - ・全区域展開に向けた実施地区の拡大
 - ・事業の具体的な活動内容をまとめた事例集の活用
 - ・講演会の開催等による市民意識の醸成 等
- 健康づくりに関する自主活動グループの交流会実施や活動紹介リーフレットの発行により、健康増進や福祉活動に関する区民の主体的な取組を支援します。
- 保健福祉センターだよりや感染症予防に関するリーフレットの発行、食品衛生に関するポスター展の開催等を通じて、区民の保健福祉に対する理解を深めます。



ご近所支え愛モデル事業部会



食品衛生ポスター展

安心して子育てできるまちづくりの推進

10,135千円

- 区内の子ども・子育て支援関係団体の連携強化を図り、地域全体で子育てを支援する環境づくりを推進します。
 - ・幸区子ども総合支援ネットワーク会議等による関係機関相互の連携
 - ・「おこさまっぷさいわい」等の情報誌の発行
 - ・「みんなで子育てフェアさいわい」の実施 等
- ニーズに即したきめ細やかな相談・支援に取り組み、孤立感や不安感なく安心して子育てができる地域づくりを推進します。
 - ・子どもの発達支援保護者学習会の実施 等



みんなで子育てフェアさいわい

地域コミュニティ活性化の推進

6,437千円

- リーフレット等の活用により町内会・自治会等への加入促進を図るとともに、大規模マンション建設に伴う自治会設立支援を推進します。
- 地域のスポーツ施設等の資源を活用し、区民の健康及び体力の保持増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず、スポーツを通してさまざまな世代の交流が図られるよう、取組を推進します。(拡充)
 - ・パラスポーツ振興に向けた新たなイベントの開催 等



町内会・自治会
加入促進リーフレット

安全で安心に暮らせるまちづくりの推進

8,472千円

- 新たに配置する訓練担当を中心に、地域防災力の強化に向けたより実践的・効果的な防災訓練を実施するとともに、職員の防災力のさらなる向上を推進し、防災体制の充実を図ります。
 - ・避難所訓練マニュアル、避難所ごとの運営マニュアルを活用した避難所開設・運営訓練を区内の全避難所(23箇所)で継続実施
 - ・実践的な「幸区総合防災訓練」(年2回)を継続実施
 - ・幸区災害対策協議会を通じた関係団体(85団体)相互の連携強化
 - ・避難所及び区災害対策本部における資器材の計画的配備 等
- 交通安全教室の開催や「ながらスマホ」による事故防止に向けた啓発活動の実施など、区民の交通安全に関する意識高揚に向けた取組を推進します。
- 地域及び関係団体と連携しながら、防犯や防火などの啓発活動を実施し、安全・安心なまちづくりを推進します。
 - ・防犯や防火に関する街頭キャンペーン、防犯パトロールの実施 等



避難所開設・運営訓練



交通安全普及啓発事業

区役所サービス向上への取組

4,560千円

- 「さいわい広報特別号」の発行により区政情報や地域課題の解決に向けた情報を区民へ周知するとともに、増設したWi-Fi通信設備、庁舎案内表示板や多言語による庁舎案内タブレット端末の活用により区役所利用者の利便性向上を図ります。
- 大規模マンション等の転入世帯への事前説明を通じて、区役所窓口の混雑緩和を図るなど、区役所サービス向上への取組を推進します。
- 地域包括ケアシステムの構築に向け、地区別担当者会議や研修等の実施により職員の人材育成とコーディネート機能の充実を図り、地域の状況に合わせた満足度の高い区民サービスを提供します。

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

528,955千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

60,740千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



中原区

<予算額>

問合せ先:総務課 744-3122 内) 63110

1,137,150千円

(対前年度比: +1.4%)

<主な事業>

地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進

13,926千円

- 地域メディアで構成する「なかはらメディアネットワーク」を活用し、区内のイベント等の情報発信の充実を図ります。また、区民の意見・要望などを調査し、今後の区政運営の基礎資料や地域課題解決の参考とすることを目的に区民アンケートを実施します。
- 武蔵小杉駅周辺地域における住民主体の持続可能なコミュニティ形成のため、賑わい創出イベント等を通じた顔の見える関係づくりを引き続き支援するとともに、社会情勢の変化に合わせたコミュニティの新たなしくみについての検討を行います。

安全・安心なまちづくりの推進

11,027千円

- 還付金詐欺等の振り込み詐欺対策や地域における防犯活動の支援など地域防犯の向上・活性化に向けた取組を推進します。
- 自転車、バイクに関する交通事故を防止するため、スクアードストレート方式による交通安全教室を地域住民を対象に1回、中学・高校生を対象に4回開催します。
- 中原区の総合的な防災力向上のための訓練及び災害時における避難所のスムーズな開設・運営のための各避難所が持つ課題に応じた訓練を実施します。
- 29年に発生した台風21号の教訓から、河川氾濫による避難所開設に備え、作業用照明等の資器材を配備します。(拡充)
- 各種防災マップや危機管理の啓発情報を掲載した中原区の総合防災マップを民間企業との連携により作成し、全世帯に配布します。
- 自転車利用のマナー啓発活動等を通して、放置自転車の減少に向けた取組を推進します。



中原区総合防災訓練
(転倒家具からの救出体験)

区民と協働したこども支援の推進

12,180千円

- 子育てををする親子の仲間づくりや居場所づくり、子育てしやすい地域のコミュニティづくりを推進するため、「子育てサロン(15か所)」の運営を支援します。
- 「中原区子育てガイドブック」や「子育て情報等紹介リーフレット」、「中原区周辺子育て施設マップ」、ホームページ等を通じて、多種多様な子育て関連情報を効果的に発信します。
- 子育て支援の場を支える新たな子育て支援者を養成し、地域全体で子育てを応援していく体制づくりを推進します。
- 公立保育所を地域の子育て支援拠点として、地域子育て支援センターやこども文化センター等と連携を深めながら、地域の実情に応じたきめ細やかな子ども・子育て支援施策を展開します。



子育てサロン

人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化

3,354千円

- 地域包括ケアシステムの浸透、担い手のスキルアップ等を図るとともに、地域交流のきっかけづくりとなるよう、幅広い世代を対象とした「中原区地域包括ケアシステム推進のための講演会」を開催します。
- 「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」の基本理念である「誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現」に向けて、在宅療養の入門リーフレットとパンフレットを作成し、在宅療養に関する普及啓発を促進します。(拡充)
- 地域包括ケアシステムにおける「自助」を促進するため、介護予防や健康づくり、高齢期の生き方について考えるきっかけづくりとなるリーフレットを作成します。また、高齢者が地域で安心して暮らせるよう地域社会全体での見守りネットワークを推進し、「互助(地域のサポート力)」の促進を図ります。



地域包括ケアシステム推進に向けた取組

多様な地域資源を活用したまちづくりの推進

14,464千円

- 区内に拠点をおく「かわさきスポーツパートナー」との連携による親子サッカー教室やバレーボール教室、バスケットボール教室、アメフト・フットボールの普及啓発イベント等の開催により地域の活性化を推進します。
- 区内の中学生・高校生の運営参加による青少年吹奏楽コンサートや地域で活動するアマチュアミュージシャンなどが出演するボランティアによる音楽ライブ「In Unity」の第20回記念回の開催など、音楽を通じた地域間・世代間の交流を推進します。
- 区民ボランティアとの協働により、区役所や駅周辺等の区内5か所の公共花壇の植栽の維持管理や親子花植体験、花植講習会等の開催により花や緑を活用した地域の魅力や景観の向上を図り、区民が住み続けたいと思うまちづくりを推進します。



親子サッカー教室

区役所サービスの環境改善

5,051千円

- 武蔵小杉駅周辺の大規模な再開発等による人口増加に伴う行政需要の増加に対応した適切な区役所サービスの提供に向けて、各窓口における混雑緩和対策や庁舎内の環境改善、レイアウト変更の検討などの取組を推進します。(新規)

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

435,679千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

374,724千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予 算 額>

問合せ先:総務課 861-3120 内) 64110

871,657千円 (対前年度比:△1.6%)

<主な事業>

地域資源を活用した魅力あるまちづくりの推進

16,628千円

- 高津大山街道周辺の歴史的・文化的な資源を保全・活用し、魅力的な空間創造と地域活性化に向けて、フォーラムや二子の渡し体験イベント等を開催します。
- 橘地区における農的資源を活用し、地域活性化を推進するため、ファーマーズマーケット「高津 さんの市」や農業体験イベント等を実施します。
- 区内の歴史・文化・自然などの地域資源のネットワーク化を図り、回遊性のある魅力的なまちづくりを推進します。また、広告収入を活用しながら、公共サインの適切な維持・更新を進めます。
- 「まちのこぼれ話」や古写真を収集・保存・整理し、ウェブサイト「高津区ふるさとアーカイブ」で公開するなど、高津のまちの記憶を次世代に引き継ぐ取組を進めます。



たちばな農のあるまちづくり
「ブチ農体験イベント」

多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進

10,064千円

- スポーツへの参加機会を拡充し、スポーツを通じて地域コミュニティの活性化を進めます。また、障害者スポーツの体験イベントを通じて、かわさきパラムーブメントの啓発を進めます。
- 町内会・自治会の役割や活動を広報することにより、地域における顔の見える関係づくりを支援します。
- 市民活動・まちづくり活動に必要な情報や活動の場を各団体へ提供することにより、その活動を支援します。
- 多文化交流事業や講演会の開催を通じ、外国人市民を含む区民の相互理解を図り、支え合いながら共に暮らす多文化共生のまちづくりを推進します。
- 「高津区ものづくり企業マップ」の活用などにより、区内ものづくり資源の魅力を発信するほか、ものづくりイベント等を通じて工場と地域住民の交流を促進します。



市民活動団体紹介イベント
「高津どんなんもんじゃ祭り」

総合的な子ども・子育て支援の推進

4,745千円

- 安心して子育てができるよう、各種子育て支援講座を実施するほか、かわさきアプリ等を活用した子育て情報の発信を行います。
- 地域の子育て関係機関が連携し、子育てしやすいまちづくりを推進するとともに、地域で子育てを支えている子育てグループ等の活動を支援して、地域の子育て力の向上を図ります。
- ものづくり技術の体験などを通して、子どもの興味の対象を広げ、夢を育むとともに、多様な方々との交流を通じ、子どものこころのバリアフリーを推進します。

すこやか・支え合いのまちづくりの推進

4,215千円

- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの推進に向け、在宅医療の普及啓発及び地域社会全体で高齢者を見守る体制づくりを進めます。また、区内マンションにおいて、住民間や地域との「つながりづくり」の取組を支援するとともに、講演会等を通じて、好事例を区内へ発信することなどにより、地域における良好なコミュニティの形成を推進します。（拡充）
- 「高津公園体操」の普及促進や健康づくり活動団体の交流を図り、介護予防・健康寿命の延伸や多世代交流、見守り活動など、共に支え合う地域づくりにつなげます。
- 区役所ロビーで障害者福祉施設の活動を紹介する「ふくシティたかつ」や地域イベントにおける障害者と地域との交流を通じ、こころのバリアフリーを推進します。



公園体操で広がる多世代交流

安全・安心なまちづくりの推進

9,883千円

- 住民相互の連携力・防災力強化を図るため、高津地区・橘地区の防災訓練を継続実施するとともに、避難所運営体制の強化を図るため、避難所開設訓練や防災講座等を実施します。また、区民の防災意識の醸成を推進するため、参加者自らが身近な地域の減災マップを作成するワークショップを開催します。
- 交通事故を未然に防止するため、区民への啓発を目的とした交通安全キャンペーンをはじめ、幼児から高齢者までの多世代に対応したセミナーや交通安全教室を実施します。
- 安全・安心で住みやすい環境整備を推進するため、自転車の適正な駐輪に関する広報・啓発活動を実施します。



小学校での減災マップづくり

区民との協働で進める環境まちづくりの推進

9,087千円

- 「エコシティたかつ」推進方針に基づき、地球温暖化適応策及び生物多様性保全として、学校ビオトープを活用した環境学習・雨水循環の取組の推進、区内緑地における保水力向上や自然の賑わいの回復に向けた活動等を実施するとともに、区民への普及啓発を行います。
- 区内各所に設置している花壇・コンテナの維持管理など区民との協働による花と緑のまちづくりを推進します。

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

389,417千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

45,247千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予算額>

問合せ先:総務課 856-3122 内) 65110

883,106千円 (対前年度比:△0.3%)

<主な事業>

多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進

10,898千円

- 歴史的遺産や農などの地域資源を活用し、地域を巡るウォーキングイベントの実施や、宮前区農産物直売所ガイド&マップ等による情報発信を行い、多様な人材の参画による地域づくりを促します。
- 区内の和太鼓団体による演奏のほか、地域に伝わる民俗芸能の舞台を取り入れ、「響け!みやまえ太鼓ミーティング」を第20回記念として開催し、文化・伝統の再認識と、保存・継承に向けた担い手の発掘と育成につなげます。
- テレビ番組とインターネットでの動画配信により、区内の様々な魅力・情報を発信します。映像を通じて、身近でより伝わる広報を目指します。



響け!みやまえ太鼓ミーティング

地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進

12,757千円

- 公園緑地愛護会等の設立支援・活性化等や区民と協働で樹木への手作り名札の取り付けを行うことにより、地域コミュニティの核としての公園の利活用を進めます。
- 宮前区まちづくり協議会を通して、市民活動団体を支援するとともに、団体間の交流や連携を促進し、地域の活性化を図ることで、区民主体のまちづくりを推進します。
- 「夏休み子どもあそびランド」を実施し、子どもたちが「あそび」を通じて地域住民と交流を図り、地域を「ふるさと」として実感できる地域形成の推進を図ります。



区民による花壇づくり

心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進

6,530千円

- 地域包括ケアシステムの構築に向けて、多様な主体と連携した「宮前区民シンポジウム」やワークショップを通じた地域のつながりづくり・健康づくりを推進します。
- 29年度の住民意識調査結果を基に、啓発用チラシの配布と調査結果の還元や地域ごとの特性に応じた区民主体の地域づくりを推進します。
- 認知症の方も安心して参加できる区内の認知症カフェ等のマップを配布し、認知症の理解と普及啓発に役立てます。
- 障害者が出演するコンサートを開催し、交流と相互理解を深め、心のバリアフリーや障害者の自立支援・社会参画の拡大をめざします。



地域のつながりワークショップ

地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進

11,733千円

- ホームページやソーシャルメディア、情報誌など多様な媒体を活用し、地域の中で安心して子育てができるよう支援します。また、子育てガイド「とことこ」について、区民の意見を取り入れながら、現在の子育て状況に即した内容に全面改訂します。(拡充)
- こどもサポート南野川における様々な課題を持つ子どもたちの居場所づくりや生活・学習支援など、きめ細やかな子ども・子育て支援を行います。
- 地域住民が主体となって身近な公園等を活用して行われる「冒険遊び場」活動を支援し、次世代育成の場をつくることで、子どもの健やかな成長と地域コミュニティの活性化を目指します。



「冒険遊び場」活動風景

区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進

10,349千円

- 宮前区地域防災連絡会議の開催や、災害用簡易エアマットの配置による避難所の環境整備等を行い、地域防災力の向上を図ります。
- 町内会単位での防災訓練、避難所単位の避難所開設訓練に加えて、宮前区総合防災訓練を実施します。
- 防災推進員養成研修や防災フェアなどを実施し、地域に根付いた防災意識の普及啓発を図ります。
- 地域防犯団体のパトロール活動や落書き消し活動の支援、交通安全教室の実施等により、安全で安心して暮らせるまちを目指します。



宮前区総合防災訓練
(中学生等による仮設トイレ設置訓練)

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

426,217千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

72,052千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予算額>

問合せ先:総務課 935-3122 内) 66110

1,103,823千円

(対前年度比: +4.1%)

<主な事業>

地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進

22,193千円

- 多様な主体と協働し、まちの魅力の発信とイメージの向上を図り、訪れる人も住む人も楽しめる「ピクニックタウン多摩区」の取組を進めます。
- 「たま音楽祭」や地域資源を活用した「ピクニックコンサート」等を開催し、音楽を通じて多摩区の魅力発信とイメージアップを推進します。
- スポーツに親しむ機会の提供と、優れたスポーツ選手との交流を通じて地域のスポーツ活動を促進するため「多摩区スポーツフェスタ」を開催します。あわせて、障害者スポーツの体験などにより、東京2020オリンピック・パラリンピック大会への区民の関心を高めていきます。
- 登戸土地区画整理事業の進展に伴い大きく変わりゆく登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の状況を踏まえ、まちの賑わい継承に向けた取組を進めます。



ピクニックマルシェ

災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進

5,191千円

- 区の防災力を向上させるために「多摩区役所防災力向上方針」に基づき、訓練を実施するとともに、多摩区防災連絡会議を通して関係機関との連携を強化します。
- 自主防災組織・避難所運営会議への支援や防災セミナー・防災フェアを実施し、地域の防災力の向上を図ります。
- 地域、警察及び消防と連携して地域へのパトロール活動支援や防犯・交通安全対策を併せたセミナー等を実施し、安全で安心できるまちづくりを進めます。
- スタントマンが交通事故を再現するスケアードストレート方式の交通安全教室の開催や小学生から募集した交通安全標語による啓発活動により、交通安全意識の定着を図ります。

たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進

11,002千円

- 子ども・子育て支援団体や関係機関によるネットワーク会議を開催し、地域全体で子育てを支援する取組を進めます。
- 幼稚園・保育所・小学校職員の相互理解や交流のための連絡会、また、幼児・児童の交流活動を進め、子どもの育ちを一体的に支援します。
- 公立保育所が培ってきたノウハウと人材を活用して地域の子育て支援や民間保育所との連携・交流等を実施し、保育の質の向上を図ります。
- 公園や広場など身近にある自然環境の中で「こどもの外遊び」と地域との交流を推進し、子どもの創造力と社会性を培います。
- 地域の中で子育て中の親子が気軽に集まれる地域サロンを開催し、子育て中の親子や地域の方との交流を進め、子育て力の向上を図ります。
- 発達に不安を抱えている親子に、専門職が集団遊びや個別面接を通して係わることで、育児不安の軽減や子どもの発達を促す支援を行います。



こどもの外遊び

すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進 3,847千円

- 地域包括ケアシステムの構築に向け、地域特性に応じた地域づくりを継続します。町内会・自治会をはじめとした多様な主体に対し、ワークショップや事例報告会といった手法で働きかけるなど、住民自らが主体となり地域課題の把握・解決を進める取組を広げていきます。また、区内全小学校での認知症サポーター養成講座の開催を継続するとともに、中学校での開催を拡大（4校→5校）します。（拡充）
- 多様な活動団体と連携する「多摩区健康フェスタ」の開催により、幅広い世代の交流を促進し、健康づくりについての普及啓発を行います。
- 多摩区総合庁舎アトリウムを利用し、区内の障害者団体や作業所等の活動紹介、作業実演及び展示等を行い、障害福祉への理解と関心を促進します。



ワークショップの様子

市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進 18,317千円

- 「地域人材育成基本方針」に基づき、市民・関係団体等、多様な主体との更なる協働・連携を進めながら、市民の多彩な経験やこれまで培ってきた知識・技能等を活かし、市民が主体となって地域の課題解決を図る取組を進めます。
- 大学生の地域参加を促進する新たなプログラムや「多摩区3大学コンサート」などを実施し、区内3大学と地域との交流・連携を図るとともに、地域の課題解決に向けた取組を3大学と連携して実施します。（拡充）
- まちの課題を解決するためのプロジェクト活動や市民活動の支援につながる交流会や研修会を実施し、区民の参加と協働による暮らしやすい地域社会づくりを進めます。
- ホームページや広報物による町内会・自治会活動の情報発信、講演会等の開催により、町内会・自治会の抱えている課題の解決を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。
- 市民団体が自主的、主体的に実施する活動を支援するため、「磨けば光る多摩事業」において提案を募集・選定し、区の事業として協働で実施します。



多摩区3大学コンサート

区の機能強化に向けた取組 5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修 417,413千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理 240,170千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



ピクニックタウン多摩区

水と緑と学びのまち
多摩区



麻 生 区

<予 算 額>

問合せ先:総務課 965-5106 内) 67110

892,067千円 (対前年度比: +4.0%)

<主な事業>

芸術・文化のまちづくりの推進

14,540千円

- 区内に集積する芸術関係資源や人材等を活かしながら、市民、事業者、教育機関、行政等が連携して「芸術・文化のまち麻生」の確立を目指すため、イベントカレンダーの配布など芸術・文化等に関する情報発信の拡充や、イベントの開催・支援、団体間の情報共有・連携の推進を実施します。
- 地域の文化団体や観光関係団体等と連携して、麻生区特有の伝統・伝承文化の魅力を活かした事業を実施します。



kirara@アートしんゆり

農と環境を活かしたまちづくりの推進

7,579千円

- 区内の大学やその他の学校、農業事業者等と連携し、区内にある農業資源や緑地等の環境資源を活用して地域交流を推進します。特に、黒川地域では、黒川地域連携協議会の3つの専門部会が実施計画に基づいて、農業資源や緑地等を活用した地域活性化や里山保全利活用を推進します。
- 区民一人ひとりが取り組める身近なエコ活動を啓発し、地球温暖化対策、自然エネルギーについての講座等を開催します。



ブルーベリーの収穫体験

高齢化への対応とすこやか・支え合いまちづくりの推進

4,810千円

- 地域包括ケアシステムの推進に向け、多様な主体との連携や地域資源を活用し、各地域の実情に合わせた支え合い活動の展開を進めます。学生の地域活動への参加など、区内の大学と連携し、区民が地域活動に参加するきっかけとなる取組を実施します。(拡充)
- 健康づくりや閉じこもり予防等のため、公園を拠点にした健康ウォーク・健康体操及び地域活動の活性化と新たな拠点づくりへの支援、あさおウォーキングマップの普及を行います。



学生が参加している
地域活動

安全・安心まちづくりの推進

5,837千円

- 災害に対する自助・共助(互助)を促進するため、自主防災組織等との協力により実践的な区総合防災訓練等を実施します。生活用水等の不足に備えプールの水を利用できる浄水装置を導入し、避難所設備の充実を図るとともに宿泊訓練を実施します。
- 交通安全関連団体と連携し、街頭啓発活動、安全パトロール実施組織への支援、研修会、スクエアドストレート方式による交通安全教育、「麻生区メール配信システム」の運用等を行います。



麻生区総合防災訓練

総合的な子ども・子育て支援の推進

6,945千円

- 子育てに役立つ講座や親子で楽しむイベント、子育てサークルにボランティアを派遣し、活動を支援する子育て人材バンク事業等を行います。
- 地域における子育て支援を推進するため、区内の保育園等子育て関連機関や民間企業と連携し、父親向けの子育て支援事業などを実施します。
- 麻生区・6大学公学協働ネットワークとの連携により、大学の施設や人材を活用しながら、映画づくり等の体験学習やコンサートなど、様々な子ども・子育て支援事業を実施します。
- 区内の子育て支援団体、大学等と行政が一堂に会し、子育て世代を対象にした子育てフェスタを開催し、地域全体で子育てを支えるまちづくりを推進します。



交流コンサート

地域資源を活用したコミュニティづくりの推進

18,374千円

- 市民組織が運営する「麻生市民交流館やまゆり」を区の市民活動支援拠点として位置づけ、市民活動の場や情報等を提供し、市民活動の一層の推進を図ります。
- 地域の担い手である町内会・自治会が行う事業を支援し、地域住民のつながりや地域の課題解決力の強化を図ります。
- 地域人材を発掘・育成し、市民活動・地域活動へつなげるしくみづくりを進めます。
- 川崎フロンターレ麻生グラウンドをはじめとした区内の様々なスポーツ資源を活用した連携事業を実施するほか、あさおスポーツフェスティバルを通じて、区内で行われる各種スポーツ大会を支援します。
- スポーツ・健康ロードの活用や総合型地域スポーツクラブ運営支援事業等を実施し、スポーツを通じたコミュニティづくりを進めます。
- 総合型地域スポーツクラブやスポーツセンターにおけるパラスポーツ体験や教室開催の支援等を実施し、かわさきパラムーブメントを推進します。



市民活動相談



川崎フロンターレ
麻生グラウンド

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

439,469千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

111,857千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。

上下水道局

<予算額>

問合せ先:財務課 200-3104 内) 45403

164,016,940千円 (対前年度比:△8.7%)

<主な事業>

安定給水の確保と安全性の向上

水道施設・管路の更新・耐震化事業の推進

- 基幹施設である末吉配水池、宮崎配水塔の更新、潮見台配水池の耐震補強を進めます。
- 地震発生時の管路被害を抑制するため、市内の老朽化した管路や市立小学校等の避難所への供給ルートとなる管路を耐震管で更新します。(更新延長約40km)
- 応急給水拠点の利便性を高め、より迅速な応急給水の実現を図るため、供給ルートとなる管路の耐震化が完了した小中学校の水飲み場と配水池・配水塔を活用し、開設作業が不要な応急給水拠点の整備を計画的に進めます。

15,820,040千円



末吉配水池 更新工事



開設不要な応急給水拠点の設置



耐震管布設工事

給水管の更新・維持修繕事業の推進

- 漏水の主な原因となる老朽給水管の計画的な更新を実施します。
- 漏水修理を的確かつ迅速に実施し2次災害を防ぎます。

2,786,410千円



漏水修理工事

工業用水道施設の整備事業の推進

- 老朽化した水江町の配水管(3号配水支管)の更新を進めます。
- 流量計やポンプなどの主要な設備の更新を進めます。

1,596,349千円

下水道による良好な循環機能の形成

下水道の管きよ・施設の地震対策事業の推進

5,950,969千円

- 老朽管が多く地盤の液状化による被害が想定されている川崎駅以南の地域の重要な管きよの耐震化を進めるとともに、川崎駅以北の重要な管きよの耐震診断及び耐震化を推進します。
- 加瀬水処理センターや戸手ポンプ場における耐震化工事などを推進します。
- 麻生～等々力水処理センター間の汚泥圧送管の二条化を推進します。

浸水対策・合流式下水道の改善事業の推進

2,400,731千円

- 浸水対策や合流改善対策など多様な機能を備えた大師河原貯留管の整備を推進します。(30年度完成予定)
- 合流改善対策として六郷ポンプ場から大師河原ポンプ場をつなぐ、六郷遮集幹線の整備を推進します。
- 浸水シミュレーションに基づく新たな重点化地区の計画策定及び三沢川地区における浸水対策を進めます。
- 想定しうる最大規模の降雨に対し、地下街から人々を安全に避難させる取組の検討(川崎駅東口周辺の地区)を進めます。



大師河原貯留管の整備

高度処理事業の推進

6,102,651千円

- 入江崎水処理センター西系再構築事業(2/2系列施設、沈砂池管理棟)を推進します。(30年度完成予定)
- 等々力水処理センターの高度処理施設(流量調整池、脱窒ろ過池)の整備を推進します。



入江崎水処理センター西系再構築

下水道の管きよ・施設の適切な維持管理と老朽化対策及び未普及解消事業の推進

3,606,851千円

- 老朽管が多い入江崎処理区において、老朽管の布設替えや更生工法による再整備(約6.8km)を推進するとともに、未普及地域の解消を推進します。
- 渡田ポンプ場施設の再構築や、水処理センター・ポンプ場などの各施設における機械・電気設備の長寿命化対策を推進します。



更生工法による再整備

※表内の図は完成予定のイメージです。

交 通 局

<予 算 額>

問合せ先: 経理課 200-3203 内) 47301

11,350,714千円 (対前年度比: +0.9%)

<主な事業>

市バスの輸送サービスの充実

運輸安全マネジメントの推進

23,286千円

- 区役所や警察署等と連携して市内7区において交通安全教室を実施します。(拡充)
- 交通安全教室用パンフレット・交通安全に関するDVDを作成し、交通安全に係る啓発活動に活用します。(新規)
- 自転車の接触事故に対する注意喚起のための看板を自転車等駐車場に設置するなど、事故の未然防止に取り組みます。
- ドライブレコーダーを活用し、発生した事故の要因分析等を行い、事故の再発防止に取り組みます。
- 運転手を対象とした運転技術向上のための実技研修を実施します。(新規)



小学校での交通安全教室

市バスネットワークの推進

8,677千円

- 主要鉄道駅や公共施設等へのアクセス向上など、市バスネットワークの充実に取り組みます。

お客様サービスの推進

11,376千円

- 添乗観察及びドライブレコーダーを活用し、その結果に基づく改善指導を行い、サービスの向上に向けて取り組みます。

移動空間の快適化

1,800,758千円

- バリアフリー及び環境に配慮した、バス車両の更新を計画的に実施します。

- ・ハイブリッドノンステップバス 2両
- ・ノンステップバス 18両

- 停留所等における市バス運行情報の提供の充実に取り組みます。(拡充)

- ・「市バスナビ」の機能強化、多言語表示(日・英・中・韓)、繋がりやすさの向上等、WEB案内の充実

- ・主要鉄道駅等におけるバス運行情報表示の充実



溝口駅南口広場を発着する市バス

○お客様への快適なバス待ち空間の提供に向けて、バス停留所施設（標識及びベンチ一体型の停留所上屋等）を計画的に更新します。

- ・停留所上屋 8基、照明付停留所標識 20基、二面式停留所標識 20基、停留所ベンチ 73脚

事業基盤の強化に向けた取組の推進

150,322千円

○正規運転手・公募非常勤嘱託運転手・整備員の計画的な採用に向けて、効果的な情報発信や多様な採用選考等を実施します。

○営業所の建替えを計画的に実施します。

- ・上平間営業所 事務所棟の竣工、旧事務所棟の解体等



市バスイメージキャラクター
「かわさきノルフィン」

営業所の管理委託

2,134,431千円

○営業所管理委託について、路線移管により規模を拡大し、運行の効率化とお客様の利便性の確保に取り組みます。

- ・井田営業所（拡充）

直営営業所からの路線移管による委託車両の増（49両→55両）

- ・上平間営業所

料金箱の更新

28,146千円

○新型PASMOバスシステムに対応するため、料金箱、精算装置等の更新に取り組みます。

地域貢献の推進

26,268千円

○「ハローキティ」と市バスキャラクター「ノルフィン」とのコラボレーションによる事業を展開します。

- ・キャラクターコラボデザインで彩ったラッピングバスに新デザインの追加

3種類→4種類（拡充）

- ・グッズの通信販売の実施（新規）

○ギャラリーバスとして、市内小学校児童による絵画作品の掲出（各区2両の計14両）及び区役所で主催する絵画コンクール作品の掲出（3両）を実施します。

○ハロウィンとクリスマスのシーズンに、

バス車両の装飾を近隣の小学校児童が参加して行い、期間限定で装飾バスによる路線運行を実施します。



キャラクターコラボデザイン例

経営計画の推進

19,436千円

○今後の社会経済状況の変化を踏まえ、持続可能な経営基盤の確立を図るため、次期経営計画を策定します。

病 院 局

<予 算 額>

問合せ先:経営企画室 200-3855 内) 70520

39,719,128千円

(対前年度比: +0.5%)

<主な事業>

信頼される市立病院の運営

経営健全化の推進

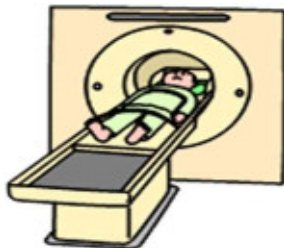
282,792千円

○市立病院が公立病院としての使命と役割を果たし、市民から信頼される安全で安心な医療サービスを継続的かつ安定的に提供していくため、新公立病院改革プランに位置付ける「川崎市立病院中期経営計画 2016-2020」(計画期間:28~32年度)を着実に推進し、更なる医療の質の向上と経営の健全化に取り組みます。

川崎病院の運営

9,870,753千円

○救急搬送患者(特に三次救急患者)の受入れや、小児救急医療・周産期医療等を継続的かつ安定的に提供するため、市の基幹病院として高度急性期医療を着実に担う体制を確保するとともに、今後の市内における人口増や高齢化の進展に伴う救急等医療需要の増加に対応するため、医療機能再編整備の検討・推進に引き続き取り組みます。



○全身のがんなどを一度に検査することができるPET-CT装置を市の南部地域で初導入し、その運用を開始することにより、地域におけるがん診療機能を強化します。

○地域医療支援病院として、地域の医療機関と顔の見える関係を構築し、役割分担を進めるなど、地域医療連携の更なる取組を推進し、高度かつ専門的な医療を提供します。また、入退院又は転院時におけるよりきめ細やかな相談支援体制を構築するため、新たに「患者総合サポートセンター」を開設します。



川崎病院

井田病院の運営

5, 130, 056千円

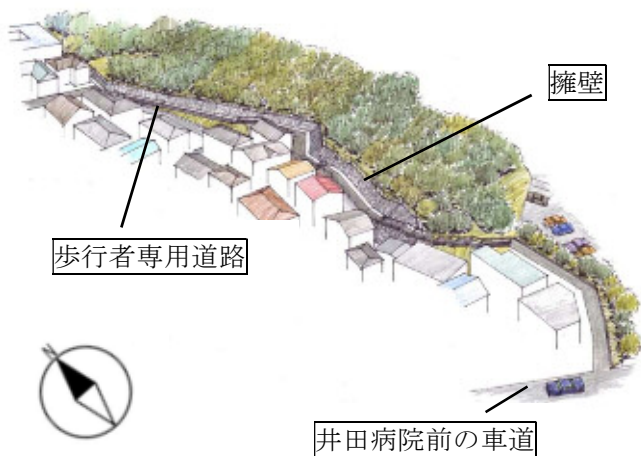
○地域包括ケア病棟において、入院患者の在宅復帰に向けたリハビリテーション医療の提供や療養指導等を充実します。また、地域の在宅療養患者等の緊急時の受入れなどを推進します。

さらに、院内の退院支援、在宅療養移行支援部門と訪問看護などを提供する在宅ケア部門を統合し、地域医療連携の強化や退院支援の早期介入と質の向上を図ります。



出典：厚生労働省「診療報酬改定関係資料（平成26年）」

＜斜面防護等整備工事完成後のイメージ＞



○井田病院の再編整備事業については、病院の西側斜面の抜本的な安全対策として、擁壁と歩行者専用道路を整備するため、引き続き斜面防護等整備工事を進めます。



井田病院

多摩病院の運営管理

827, 660千円

○学校法人聖マリアンナ医科大学を指定管理者として、小児医療を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療などを提供します。

○災害拠点病院としての役割を担うとともに、地域医療支援病院として地域のかかりつけ医などと連携を進めることで、地域全体の医療供給体制の向上を図ります。

○開院から10年以上を経過したことによる施設・設備の老朽化に対し、長寿命化に向けた維持補修を実施します。



多摩病院

特別会計予算

本市の予算は、一般会計のほかに、主に特定の収入をもって特定の事業を行う場合で、一般会計の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合に特別会計を設けています。ここでは、特別会計で実施している事業を紹介します。

競輪事業

20,302,875千円

【所管局：経済労働局】

- 包括業務委託により民間ノウハウを活用した効果的・効率的な事業運営を行うとともに、「川崎競輪場再整備基本計画」に基づき再整備事業を推進し、持続可能な事業運営の確立に努めることで市財政への継続的な貢献を図ります。

- ・年12回47日 開催予定

川崎競輪イメージキャラクター
「九ちゃん」



卸売市場事業

2,011,431千円

【所管局：経済労働局】

- 市場使用料等により、国の動向を踏まえた「川崎卸売市場経営プラン」に基づく施策の推進や、「屋上防水工事」、「エアハンドリングユニット更新工事」等の老朽化対策を図ります。

- ・北部市場(中央卸売市場)、南部市場(地方卸売市場)

国民健康保険事業

124,987,214千円

【所管局：健康福祉局】

- 持続可能な医療保険制度を構築するため、30年度から、国民健康保険事業は神奈川県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担います。本市では、資格管理、保険給付、賦課・徴収等の事務を引き続き行います。

- ・被保険者数(年平均) 275,000人

母子父子寡婦福祉資金貸付事業

298,766千円

【所管局：子ども未来局】

- 母子父子寡婦世帯の経済的自立を支援するため修学資金等の貸付を行います。
- 修学資金及び就学支度資金の貸付対象を大学院まで拡大します。(拡充)

後期高齢者医療事業

15,380,392千円

【所管局：健康福祉局】

- 75歳以上の高齢者等を被保険者とする後期高齢者医療制度を、神奈川県後期高齢者医療広域連合と連携して実施します。

- ・被保険者数(年平均) 138,363人

公害健康被害補償事業

83,625千円

【所管局：健康福祉局】

- 一般財団法人川崎市公害対策協力財団からの拠出金を主な財源として、大気汚染の影響による健康被害に係る補償を行うとともに、被害者及びその遺族の生活の安定及び福祉の向上を図ることを目的として、必要な事業を行います。

- ・被認定者数(年平均) 1,266人

介護保険事業

90,591,154千円

【所管局：健康福祉局】

○介護保険料等による要介護認定者等の介護サービス利用に係る保険給付等を行います。

・第1号被保険者数（年平均） 298,046人

○認知症の早期診断・早期対応に向けて認知症訪問支援事業を7区すべてで実施します。（拡充）



港湾整備事業

15,710,921千円

【所管局：港湾局】

○港湾施設使用料や財産収入等により、上屋、港湾共同事務所（30年度解体予定）、コンテナターミナル等の港湾施設の整備及び管理運営を行います。

○東扇島堀込部の土地造成事業を推進し、海面埋立に必要な護岸整備を行います。（拡充）

勤労者福祉共済事業

133,874千円

【所管局：経済労働局】

○勤労者福祉共済の会員からの掛金収入等により、給付や福利厚生事業等を行います。

・加入者数（年平均） 11,934人

墓地整備事業

620,456千円

【所管局：建設緑政局】

○墓地使用料等により、墓地（緑ヶ丘霊園・早野聖地公園）の整備を実施します。

・壁面型墓所（104か所）の整備等

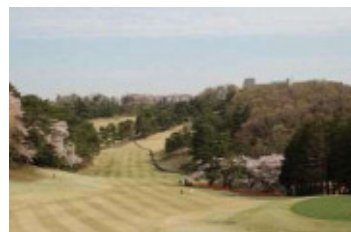
生田緑地ゴルフ場事業

472,751千円

【所管局：建設緑政局】

○利用料収入により生田緑地ゴルフ場（多摩区）の整備・管理を実施します。

・カート路安全対策改修工事、斜面安全対策調査等



生田緑地ゴルフ場

公共用地先行取得等事業

3,826,991千円

【所管局：財政局】

○将来、公園や道路などの公共事業に供する用地の先行取得、及び先行取得した用地の維持管理を行い、円滑な事業の実施を図ります。

公債管理

219,464,795千円

【所管局：財政局】

○川崎市債の発行・償還（元金の償還及び利子の支払い）を行います。

○将来の元金償還に備え、減債基金への積立を行います。